

平成21年度 科学研究費補助金（学術創成研究費）
事後評価結果

研究課題名	糖鎖生物学と神経科学の融合による神経糖鎖生物学領域の創成	研究代表者名 (所属・職)	岡 昌吾（京都大学・大学院医学研究科・教授）
-------	------------------------------	------------------	------------------------

研究課題の総合的な評価

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
	A	期待どおり研究が進展した
○	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

評価意見

神経回路形成期に高発現するポリシアル酸や HNK-1 糖鎖に注目し、HNK-1 糖鎖の合成酵素活性制御機構や糖鎖構造に関して、新たな知見を獲得している。また、糖鎖前駆体遺伝子操作動物を作成して、HNK-1 糖鎖がメダカの脊索形成に関与することを明らかにするなどの成果もあげている。

しかし、糖鎖生物学と神経科学の融合という重要な目標に関しては、今回は端緒を開くところにとどまった。今後、神経科学の様々な方法論を戦略的に駆使することによって、この分野の進展に大きく貢献することを期待する。